

設置説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

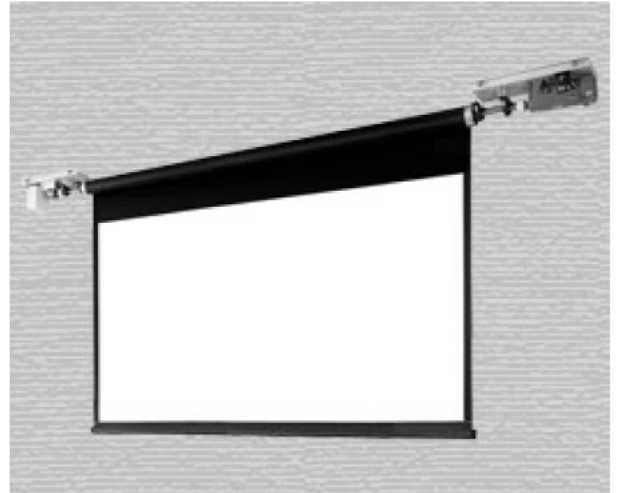
本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や専門の施工業者に依頼してください。

施工業者様へ

設置するにあたり、大型スクリーンのため高所の足場や、チェンブロックなどを別途ご用意ください。その他準備品は「別途ご用意いただくもの」をご参照ください。

お客様の安全のため設置場所の強度には十分ご注意の上、設置施工をお願いします。

- 工事を請け負われた工事業者のかたは、設置完了後にこの設置説明書と添付の取扱説明書および保証書を、お客様へご説明の後お渡しください。



EB-200V

EB-250V

EB-300V

EB-350V

EB-200H

EB-250H

EB-300H

EB-350H

もくじ

安全上のご注意	2~3
仕様	4
付属品の確認	5
設置の前に	5
別途ご用意いただくもの	6
設置要領	6~11

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



組立ておよび設置は必ず専門技術者が2人以上で行う

1人での作業や不慣れな組立て・設置は、思わぬけがを負うことや、本機が落下する恐れがあります。



設置場所の強度確認の上、質量に耐える場所に設置する

長期使用を考慮し、強度不足の場合は必ず補強をしてください。思わぬけがを負うことや、本機が落下する恐れがあります。



異常時や本体に水が入った場合は、運転を中止する

異常な音や臭いがする場合等動作に異常がある時や、本体に水が入った場合は、すぐ **STOP** ボタンを押して使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。中止後は、取扱店または当社に相談してください。



スクリーンを無理に引き出さない

本体または機構が破損したり、スクリーン生地が脱落する原因になります。



スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしない

本体またはスクリーンの破損の原因になり、危険も伴います。



分解や修理・改造をしない

分解禁止 火災・感電の原因になります。 ● 修理は、取扱店または当社までご相談ください。

注意



作業時はヘルメットの着用、高所では安全帯を使用する



吊荷の下には入らないこと



スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない
破損の原因になります。



スクリーン面はていねいに扱ってください

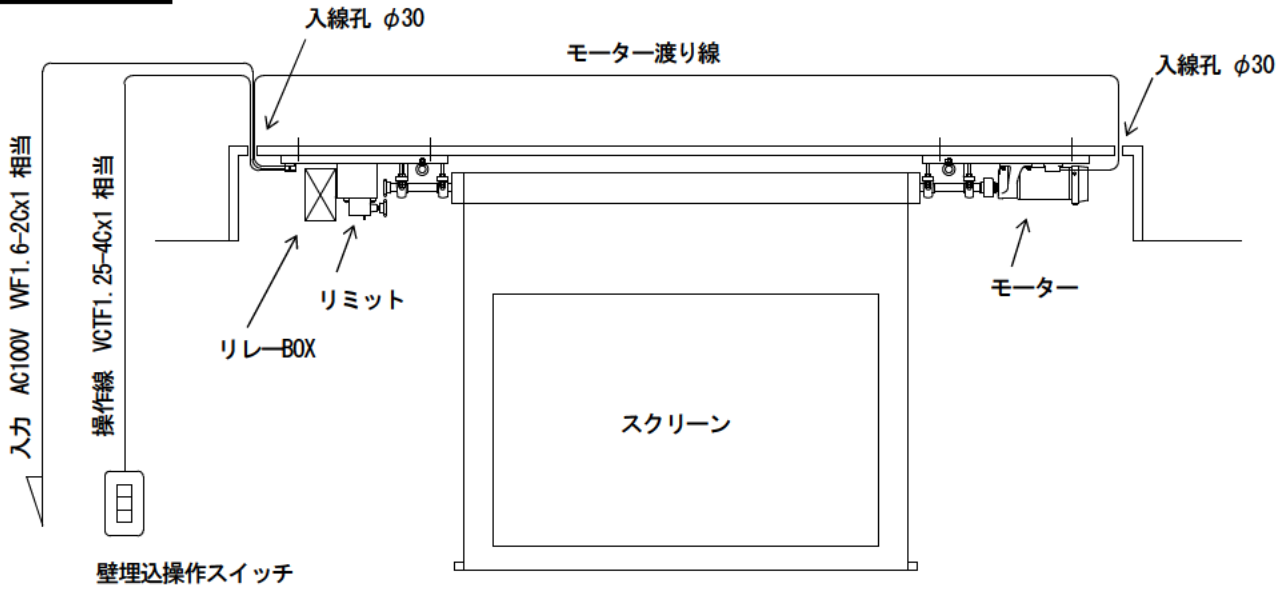
スクリーン表面は特殊な加工が施されています。汚れや傷がつきますと映写効果を損なうことがありますので、手で触れたり、固いものでこすったり引っかいたりしないでください。

表面のホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふくか、柔らかいブラシで払ってください。

水で湿らせた布やベンジン、シンナーなど薬品類は使用しないでください。

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

仕様

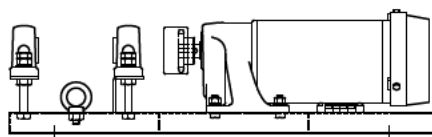


型式	アスペクト比	イメージサイズ W×H(mm)	質量(kg)	ロー径D(mm)	昇降速度 (mm/sec)	電源電圧 定格電流	生地		付属品	
							約1WG201	約1WG207		
EB-200V	4 : 3 (NTSC)	4064 × 3048	51.0	φ103	176/210 (50/60Hz)	AC100V (50/60Hz) 定格電流 3.2/2.8A	●	○	・壁埋込 操作スイッチ ・モーター渡り線	
EB-250V		5080 × 3810	59.0				●	○		
EB-300V		6096 × 4572	98.0	φ150	155/185 (50/60Hz)		●	○		
EB-350V		7112 × 5334	110.0				●	●		
EB-200H	16 : 9 (HD)	4428 × 2491	50.0	φ103	176/210 (50/60Hz)		●	○		
EB-250H		5535 × 3113	58.0				●	○		
EB-300H		6642 × 3736	98.0	φ150	155/185 (50/60Hz)		●	○		
EB-350H		7749 × 4359	110.0				●	○		

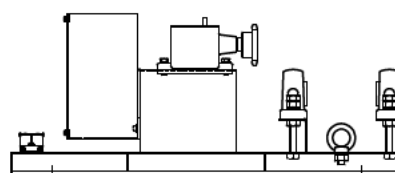
- ※ 上記仕様図面は、設置の一例です。
- ※ 生地●は、イメージ内に継目があります。

付属品の確認

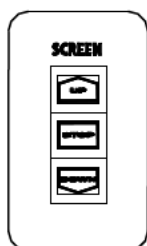
- 設置の前に必ず確認してください。
(物件によっては、内容が変更になることがあります)



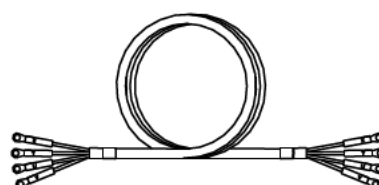
モーターベース ×1
(カップリング 付属)



リレーベース ×1
(カップリング 付属)



壁埋込操作スイッチ ×1
(止 b 接点)



モーター渡り線 ×1



スクリーン ×1
(下パイプ、軸受、ｽﾌﾟﾙｯﾄ付属)

設置の前に

- 本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。
- 埋込スイッチの取り付けは、すでに設置されているスイッチボックスをご使用ください。
(スイッチボックスが無い場合は、市販の露出ボックスやはさみ金具等を別途ご用意ください。)
- 屋内配線工事は、必ず電気工事士の有資格者が行ってください。
- 設置後は、この説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しして、大切に保管いただってください。

別途ご用意いただくもの

設置にあたり、以下の道具・資材および部材をあらかじめご用意ください。

- 作業高さにあった足場（ローリングタワーまたは建築足場）
- チェーンブロックまたは電動ウインチ（吊荷重に対応したもの）
- 玉掛に必要なワイヤーロープ、スリングベルト等
- 電動ドリル、インパクトドライバー等
- スパナ類（モーターベース、リレーベースの固定用）
- 電気配線、結線に必要な工具
- ドライバー
- スクリーン生地を巻くためのロープ
- 養生材
- 梱包用木枠の解体道具

設置要領

下記設置要領は、取付用ボックスまたはブドウ棚が設置され、電源線 AC100V、操作線が用意されていることを前提に説明しています。

また、案件ごとに設置環境が異なることが多いため、一例として説明しています。

なお、お取り扱い上の不備、天災等によるトラブル、事故等について当社は責任を負いかねます。基本的には、各現場毎の施工図面を用いて作業を進めてください。

作業手順は、以下の通りです。

- ① スクリーンの仮組立て・寸法取り
- ② 取り付け位置墨出し
- ③ モーターベース・リレーベース取り付け
- ④ スクリーン取り付け
- ⑤ 結線
- ⑥ リミット位置調整
- ⑦ スクリーンしわ取り調整
- ⑧ ボルト類の増締め、確認

① スクリーンの仮組立て・寸法取り

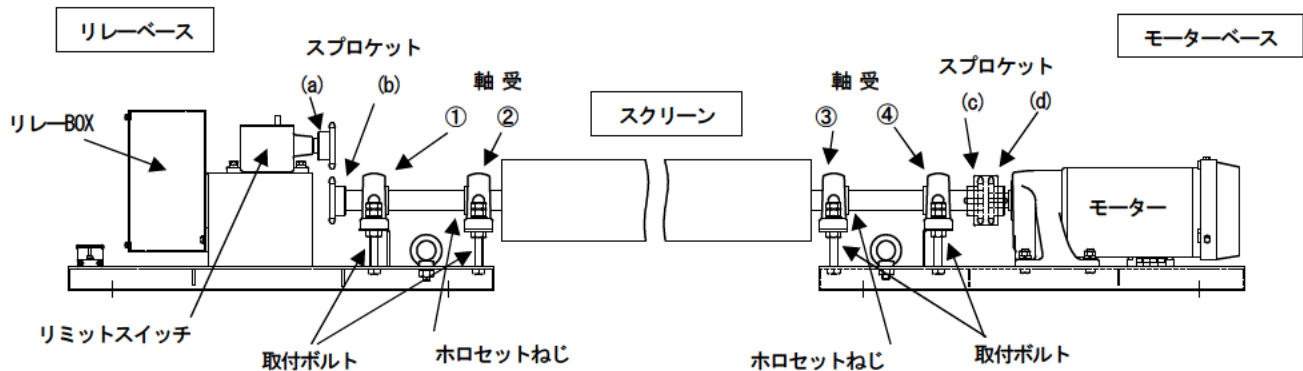
まず施工図面と現場を見比べて、相互が一致しているかを確認してください。

施工図面と異なる箇所がありましたら、図面上に描き込んで、記録を残してください。

施工図面と現場が異なっているまま工事を行うと、重大なトラブルや事故につながる可能性がありますので、注意してください。

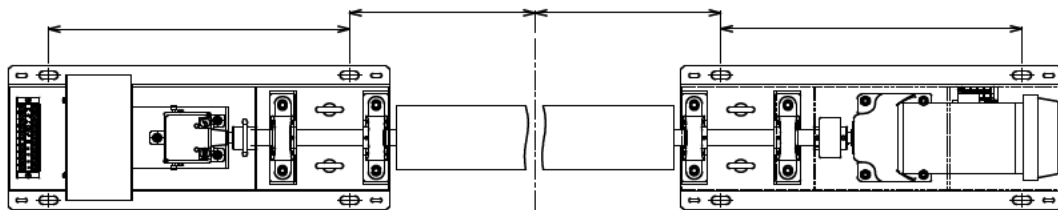
また障害物などがあり、施工図面通りに設置できない場合は、現場担当者と打ち合わせてください。

- (1) 仮組立ては床面で行います。作業時は床面に養生処理を行ってください。



リレーベース、モーターベースを適切に配置し、スクリーンローラーの軸受を図に沿って、それぞれのベースの取付ボルトにはめ込み、仮組みを行います。
スクリーンローラー両端にある軸受②③と、ならびに軸受①④の取付ボルト位置がずれている時は、軸受②③のベアリング部にあるホロセットねじ（各2本）を緩め、軸受と取付ボルトの位置が合致するよう調整した後、緩めたホロセットねじを締め付けます。

- (2) スプロケット (a) (b) をチェーンで・(c) (d) をカップリングで仮固定します。
この際、継手クリップは完全には押し込まず、半分ほど押し込むに留め、取り外せるようにしておきます。
- (3) スクリーンセンターから取り付けボルト位置を寸法取りします。



- (4) 元の状態に分解します。

② 取り付け位置墨出し

センターからの各取付ボルト位置を採寸したら、実際に設置する位置に印を付けます。
取付用ボックス内ならば、穿孔して設置用ボルトを吊り下ろします。
ブドウ棚なら、取付用補強下地を施工して、設置用ボルトを吊り下ろしてください。

③ モーターベース・リレーベース取り付け

設置用ボルトに各ベースを設置する。但し、設置後に各ベースの位置調整が行えるよう、ナットは仮締めに留め、締め付けないこと。（スクリーン取り付け時に調整が必要なため）
※設置用ボルト固定穴付近に仮固定ねじ用長穴を設けていますので、必要に応じ、ご使用ください。尚、仮固定ねじのみの設置は、製品脱落の危険性がある為、絶対に行わないでください。必ず設置用ボルトを本締めし、固定してください。

④ スクリーン取り付け

スクリーンを巻いている養生は外さないままで作業を行ってください。
もし外してしまったならば、ロープなどで生地を結んでから作業を行ってください。
生地の巻きを留めない状態で作業を行うと、スクリーンの巻きがほどけて生地が下まで降りてしまいますので、注意してください。

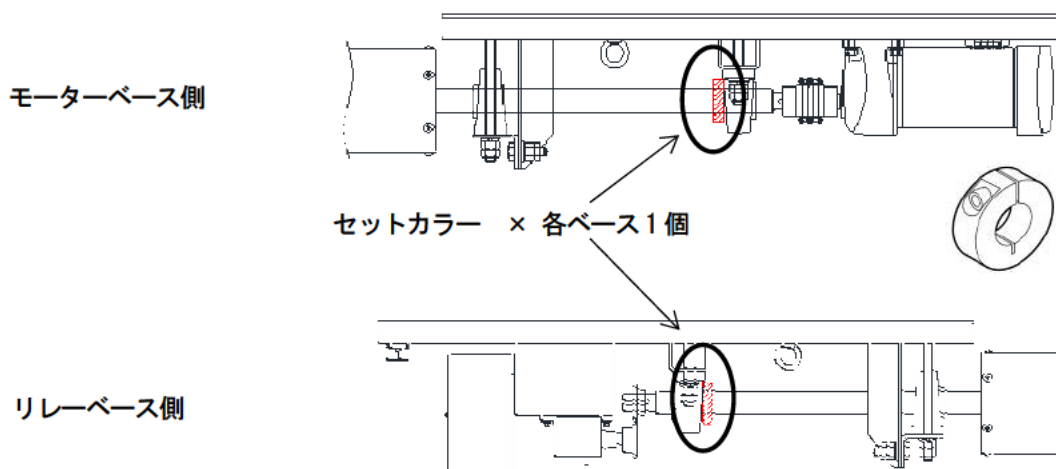
(1) スクリーンローラーを安全に十分配慮した方法で引き上げ、軸受①②③④を各ベースの取付ボルトにはめ込み、仮固定します。
 ボルトと軸受の位置が合わないときは、ベースの位置を調整しながら行ってください。
 スクリーンローラー部が水平でスムーズな回転をするか確認してください。
 スクリーンセンターが正しい位置にあるか、確認してください。

(2) スプロケット(a) (b) をチェーンで、(c) (d) をカップリングで固定する。
 カップリングの継ぎ目に継手ピンを最後まで押し込み、クリップで固定してください。
 カップリングがはまりにくい場合は一度各ナットを緩め、ベースとローラーを水平にします。
 チェーン・カップリングが固定できたら、ベース・軸受①④のボルトを本締めします。
 軸受②③はスクリーンのしわを取るためのものなので、まだ仮固定のままにしてください。
 両方のカップリングが固定できたら、スクリーンの養生もしくはロープを外してください。



セットカラーは設置時に外さずにそのまま使用する
 セットカラーを外すと動作不良・異音の原因になります。

(3) スクリーンローラーの設置完了後、シャフトについているセットカラーを下イラストの位置のピロブロックに押さえつけながら締結してください。(締め付けトルク 11N・m)
 締め付ける際はセットカラー固定ねじを均等に締め付けてください。

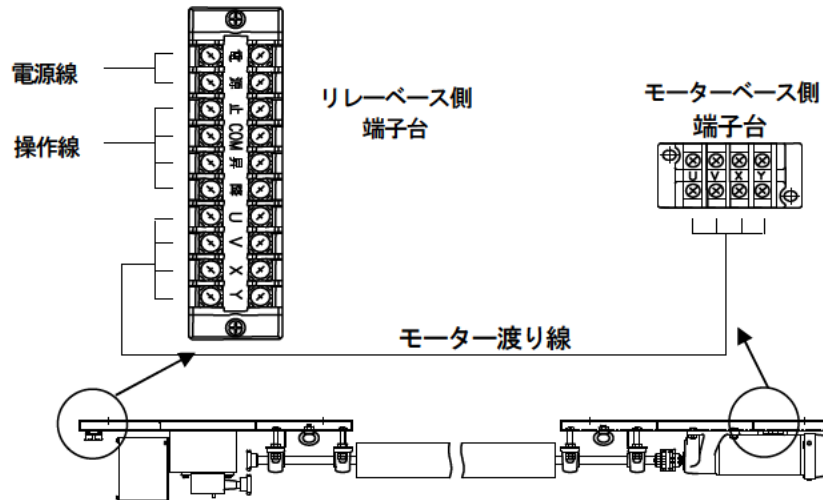


⑤ 結 線

⚠ 注 意

結線の際は、ショートや感電の恐れがありますので、電源側に通電していないことを確認してから行ってください。

- (1) リレーベース側の端子台に、電源線、モーター渡り線、操作線を結線します。
電源線に通電していないことを確認してから結線してください。
モーター渡り線は、モーターベース側の端子台と、リレーベース側の端子台の表記（U・V・X・Y）と、モーター渡り線の端子の表記（U・V・X・Y）とを合わせて結線します。
操作線は、埋込スイッチのCOM・昇・降・止を、リレーベース側端子台の表記と合わせて結線します。



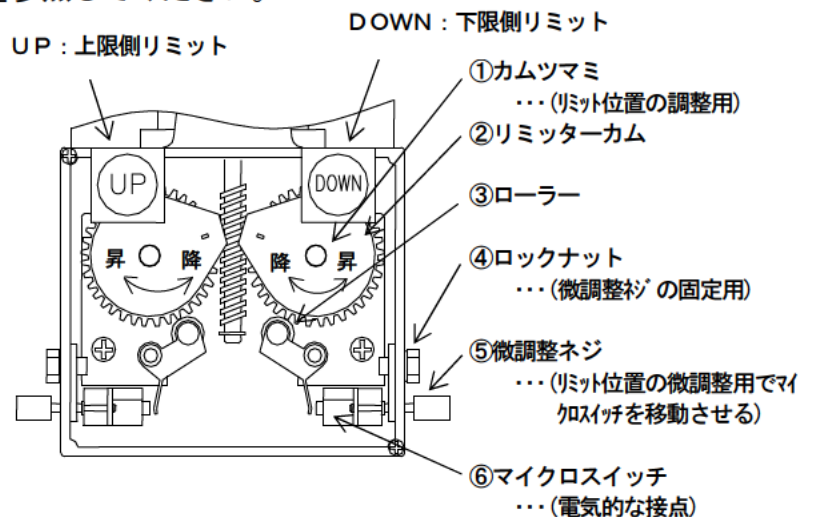
- (2) すべての結線が終わったことを確認したら、電源を入れます。

⑥ リミット位置調整

リミットスイッチの構成は、下図を参照してください。

《リミットスイッチの仕組み》

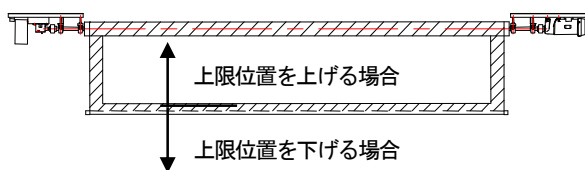
モーターの回転に伴い②リミッターカムも回転します。
回転した②リミッターカムが③ローラーに接触すると、③ローラーが⑥マイクロスイッチ（b接点）を押し込み、スイッチが切れるとモーター（スクリーンの動作）が止まります。
②リミッターカムと⑥マイクロスイッチの位置を調整することで、スクリーンを任意の位置で停止させます。



最初にどちらが上限 (UP) と下限 (DOWN) のマイクロスイッチかを確認します。
実際に少しかだけ動作させて、対応する②リミッターカムの回転方向を確認します。
※調整中は、必ず一人は操作スイッチから離れないでください。
※上限リミット調整位置は、生地を巻取り過ぎない位置で設定してください。
※下限リミット調整位置は、施工図面に記載された位置で設定してください。

【リミット調整の方法】

1. 上限 (UP) 側リミット調整



(1) ロックナットを緩めて微調整ネジが手で回転できる状態にします。微調整ネジを時計回りに回転させてマイクロスイッチを動かし、ローラーに近づけておきます。

(2) 操作スイッチでスクリーンを上昇させ、上限位置の直前で停止させます。

(3) リミッターカムの位置決めをします。カムツマミを引きながら回転させ、リミッターカムをローラーに当て、マイクロスイッチを押す直前のギヤにリミッターカムをセットします。
※マイクロスイッチが押されるとき、カチッと音がするので、良く聞いて判断してください。

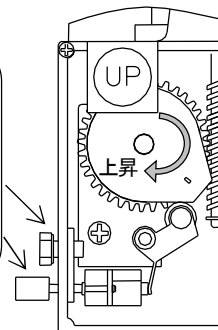
(4) マイクロスイッチの微調整を行います。巻上がった状態のスクリーンを少し下降させてから再度上昇させて(3)で設定した位置で停止するか確認してください。所定の位置と合わない場合は、微調整ネジで調整します。停止位置が上がりすぎた場合は、微調整ネジを時計方向に回転させ、マイクロスイッチを押込み（早く止まる）、上限位置を下げます。

(5) 所定の位置で止まるまで、(4)を繰り返して調整します。

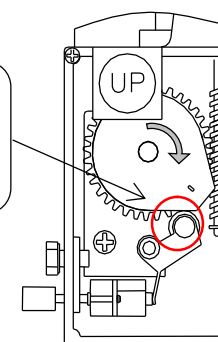
(6) 調整終了後にロックナットを締めて微調整ねじを固定します。

(7) 再度スクリーンを操作して、所定の位置に停止することを確認してください。

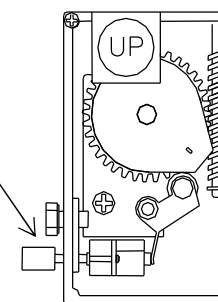
④ロックナットを緩めます
(反時計方向に、⑤微調整ネジが手で回せる程度)。
⑤微調整ネジを時計方向に回し
⑥マイクロスイッチを③ローラーに近づけておく。



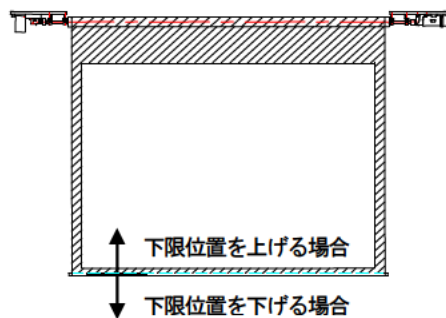
①カムツマミを引きながら回転させ、③ローラーに当て、⑥マイクロスイッチが「カチッ」と音がする直前にセットします



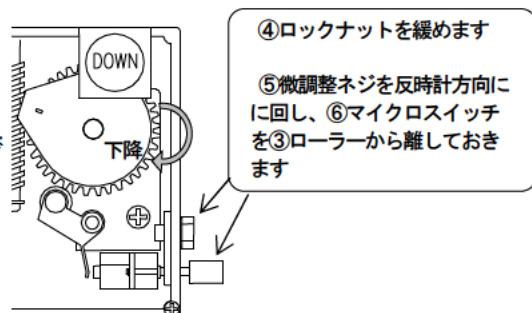
スクリーンを少し下げたから再度上昇させ、(3)の位置で停止するか確認してください。合わない場合は、⑤微調整ネジで調整します。上限が上がりすぎた場合は、ネジを時計方向に締め込み、早く停止させます。



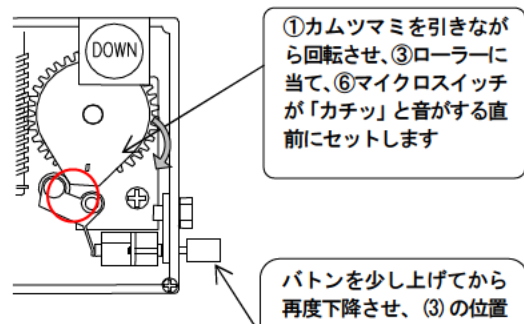
2. 下限 (DOWN) 側リミット調整



- (1) ロックナットを緩めて微調整ネジを反時計回りに回し、マイクロスイッチをローラーから離しておきます。
- (2) 操作スイッチでスクリーンを下降させて下限位置直前で止めます。
- (3) リミッターカム位置をセットします。(上限側と同様)



- (4) マイクロスイッチの微調整を行いません。
スクリーンを少し上昇させてから、再度下降させ、(3)で設定した位置で停止するか確認します。
所定の位置に停止しない場合は、微調整ネジで調整します。
停止位置が下がりすぎた場合には、微調整ネジを時計方向に回転させ、マイクロスイッチを押し込んで(早く止まる)、下限位置を上げます。



- (5) 所定の位置で止まるまで、(4)を繰り返して調整します。
- (6) 調整終了後にロックナットを締めて微調整ねじを固定します。
- (7) 再度スクリーンを操作し、所定の位置に停止することを確認してください。

⑦ スクリーンしわ取り調整

スクリーンのしわは、基本的には下図の軸受②③の取付ボルトのナットの高さで調整を行います。

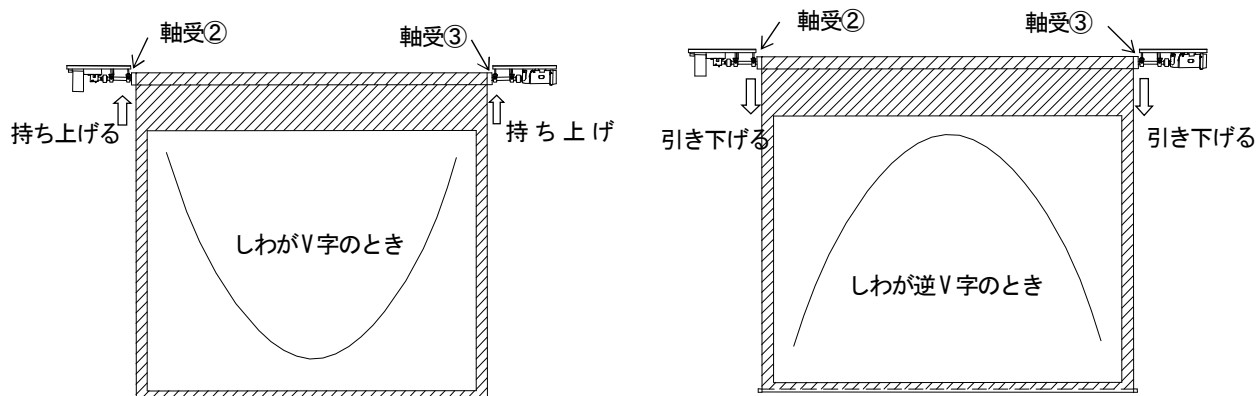
しわの状態がV字の時は、取付ボルトのナットを回して軸受②③を持ち上げて調整します。

逆V字の時は、同様に軸受②③を引き下げて調整を行ってください。

ただし極端に軸受②③を上下させると部品が破損する恐れがありますので、調整幅はレベル出しされたローラー軸を基準に±3mm 範囲内で行ってください。

調整後は、取付ボルトのナットを締めて、軸受②③を固定してください。

※しわ取り調整を行っても、スクリーンのしわが解消されない場合は、取付用ボックスかブドウ棚の設置面が水平か、リレーベースとモーターベースが同一平面上に取り付けられているかを確認してください。



※軸受②と③取付ボルトのナットを締め込む方向に回して、スクリーンの軸を持ち上げます。

※軸受②と③取付ボルトのナットを緩める方向に回して、スクリーンの軸を引き下げます。

⑧ ボルト類の増締め、確認

各部調整後、各ベース取付ボルト・ナット、軸受部ホロセットねじ等、増締めを行ない、しっかりと固定されていることを確認してください。

※各ベースは、仮固定ねじのみの設置は、製品脱落の危険性がある為、絶対に行わないでください。必ず設置用ボルトを本締めし、固定してください。

製造販売元 株式会社 **オーエスエム**

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail : info@os-worldwide.com